

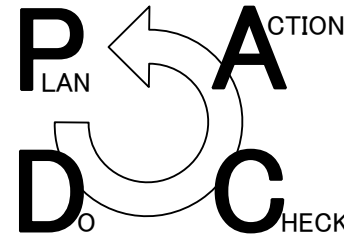
政策名	3夢のふくらむ港	施策推進 責任者	企画調整室長 総合開発担当部長 関連事業担当部長
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策名	13人びとの交流の場を充実する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	来港者					
	サービスの対象物(何を)	ガーデンふ頭及び金城ふ頭					
	意図(どういう状態にしたいのか)	人々が交流し、賑わいのある場となる					
内容	ガーデンふ頭では、名古屋港水族館など人々で賑わい親しまれる港づくりを進めているとともに、金城ふ頭では駅周辺において、商業・娯楽施設を誘致し交流拠点の形成を進めています。今後も再開発を進め、人々が交流し、賑わいのある場となるようにしていきます。						
目標	ガーデンふ頭地区及び金城ふ頭地区の施設がより多くの人々に利用されるようにします。	目標達成に影響する外的要因等 景気変動による来港者数減					
成果指標名	単位	実績				目標	指標の説明(式)
		H19年	H20年	H21年	H24年		
ガーデンふ頭施設利用者数	実績目標	万人	275	249	225	260	水族館、ポートビル(展望室・博物館)、ふじ。(イタリア村を含まず) ※H19は開港100周年
	達成率	%	105.8	95.8	86.5		
金城ふ頭施設利用者数	実績目標	万人	53	64	65	88	本組合貸付地施設のみ
	達成率	%	60.2	72.7	73.9		

4. ACTION(取組)

取組の方向性			
成果	拡大		○
	維持		
	縮小		
		縮小	維持
		コスト	
判断の理由			
親しまれる港づくりの一環として、交流の場の充実が重要であり、今後も、多くの人々が来港し、楽しめるような事業展開を図ることにより、成果の拡大を図る必要があるため。			



3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 景気変動、社会情勢(高速料金無料化)によって、来港者数は伸び悩んでおり、この対応が急務となっています。 ガーデンふ頭においては水族館のシャチ「ナミ」の公開、金城ふ頭においてはリニア・鉄道館のオープンなどにより、今後集客が期待できますが、更に周辺施設と連携した取り組みが必要です。 ガーデンふ頭再開発(東地区)事業や金城ふ頭駅前開発事業は、民間事業者の進出に委ねるものの、各地区の魅力を向上させる事業として進めることが重要と考えています。 	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業構成は概ね妥当と考えます。 	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者の誘致等によりガーデンふ頭再開発(東地区)事業を進めるとともに、ガーデンふ頭の他の施設や背後との連携施策、及びふ頭内の動線の検討など、現在の取り組みを強化していきます。 金城ふ頭においては、名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想と連携して、駅前開発用地への民間事業者の誘致に取り組みます。 指定管理者と連携して、ガーデンふ頭諸施設についてHP、情報誌等により情報発信するなど、利用率向上のための施策をさらに推進していきます。 	

2. DO(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度 末までの 状況	今後の方向性		判断の理由	
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の方向性	取組の方向性		
				実績 決算額	実績 決算見込額	目標 予算額	成果				コスト		
	交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)(3041301)	名古屋港における交流施設の現状分析を行い、他の施設計画との整合と取りながら、交流空間の更なる拡充に向けた施設配置の検討を行います。	策定進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	20 20	6 26	4 30	40 70	100 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。	
	モノづくり文化交流拠点形成の支援(3041302)	名古屋市が金城ふ頭にて推進しているモノづくり文化交流拠点形成の推進を支援し、関係機関と調整を行います。	モノづくり文化交流拠点の整備面積(ha)	0 782	0 789	0 772	8.3 3,336	8.3 (-)	遅れ	継続	➡ ➡	モノづくり文化交流拠点整備の進捗を踏まえて関係者調整を行う必要があるため。	
	名古屋港水族館の管理運営(3041303)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入館者数(万人)	211 10,422	190 10,524	172 10,298	200 10,534	200 継続事業	順調	継続	➡ ➡	新たな集客施策(シャチの公開)を進めながら、事業の推進を図っていくため。	
	名古屋港ポートビルの管理運営(3041304)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入場者数(展望室、海洋博物館及び南極観測船ふじ)(万人)	64 19,804	58 56,535	52 121,365	60 169,767	60 継続事業	順調	継続	➡ ➡	現在、良好な施設運営がされており、この状態で維持・継続して事業を進めていくため。	
	名古屋港湾会館の管理運営(3041305)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	会議室の利用率(%)	61 91,706	59 89,491	54 76,666	60 60,967	60 (H22)	順調	継続	➡ ➡	8月末に廃止した旧会館に代わり、新会館をPFI事業者が維持管理していく「継続事業」としたため。	
○	ガーデンふ頭再開発(東地区)事業の推進(3041306)	ガーデンふ頭全体における必要な機能、施設等の整理を行い、ガーデンふ頭再開発計画を作成します。また、ガーデンふ頭東地区において、民間事業者の進出を前提とした事業化方策を検討します。	策定進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	- 33,567	- 30,934	22.5 19,910	2.5 34,855	100 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	東地区の事業化に向けた取り組みを重点的に進めていくため。	
	本庁舎等整備事業【再掲】(3041307)	地震・津波などの緊急時において防災・危機管理の拠点となるべき本組合本庁舎の耐震性能を向上させるとともに、港湾会館を合築することについてPFIの事業手法を用いて、港まちづくりを推進していくものです。	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	0 0	4 4	68 72	38 100	100 (H22)	順調			【本掲】「21防災対策を強化する」(コード5072108)にて評価	
○	金城ふ頭駅前開発事業の推進(3041308)	金城ふ頭開発事業の残る駅前開発用地において民間施設の誘致を行います。(平成22年度に事務事業名をこれまでの「金城ふ頭第1期開発事業の推進」から変更しました。これは対象エリアを「第1期」用地(3.4ha)に限っていたものを「駅前」周辺に拡大(駅舎下等)したことに伴うものです。)	駅前開発用地の誘致件数(件)	0 9,554	0 9,647	0 7,895	2 10,270	2 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	平成22年3月のリニア・鉄道館のオープンを契機として誘致に取り組む必要があるため。	
	金城ふ頭既存立地施設の利用支援(3041309)	立地施設の事業者の要望等を聞いて調整を行います。(平成22年度に事務事業名を金城ふ頭開発施設の利用促進から変更しました。これは、駅前開発事業やモノづくり文化交流拠点形成支援などと差別化を図るためです。)	誘致施設の利用者数(万人)	53 11,291	64 11,401	65 4,978	88 9,584	88 継続事業	やや遅れ	継続	➡ ➡	今後も立地事業者との連絡会議等により相互の連携を図り進めていく必要があるため。	
注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。				施策コスト(事業費合計)	231,264	270,126	298,966	3,502,707					

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。